

令和7年度 熊本市立寺井小学校 学校評価(前期)

評価項目	具体的方策	評価指標	評価の指標(達成率/目標率)	教職員アンケート	児童アンケート	保護者アンケート	取組状況	評価	今後の改善点と具体的方策	
1 組織力の向上	①【継続した検証・改善】主任等を中心とした各組織が目標に基づき、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	教頭	「学力向上・生徒指導・授業改善」の各チームや学年が主体となって「児童と教師の協働」を推進し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	児童と取り組み目標を共有し、取り組み後に児童アンケートを行い、それをもとに改善策を考えた。(実施した)【A58.3%、B41.7%】		全体として「A+B」の肯定的な回答が非常に多い割合を占めており、児童の主体的な活動や主体的な取組に対して、目標達成や目標達成の進行において、目標を先生と確認し、振り返りを行っていると感じている。	A	児童がより具体的にイメージでき、自ら進んで進められるような工夫(例: 環境的な目標設定、主体的な活動への参加など)が取り入れられている好事例を校内で共有し、教職員全体のスキルアップを図る。	
	②【いじめ・不登校等の未然防止】日常の情報共有・報告・連絡・相談を徹底し、いじめや不登校等の課題に迅速かつ適切に対応する。	教頭	「いじめ・不登校等の未然防止」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「いじめ・不登校等の未然防止」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。		学校はお子さんの進捗や困りごとに対して、迅速に対応している。【A33.3%、B53.3%、C33.3%、D0%】	B	「C」や「D」に回答した保護者に対し、個別にアプローチを行い、具体的な改善策を提示し、改善を進めている。	
	③【組織的指導力の向上・働き方改革の推進】DX化や平準化を進め、学年会やチーム会を通して組織的指導力の向上と働き方改革を推進する。	教頭	「組織的指導力の向上・働き方改革の推進」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	学年会・チーム会を通して、組織的指導力の向上と働き方改革を推進する。			多くの教職員がデジタル技術の活用を認識し、活用が学校全体に広まってきた。		GIGA担当と連携し、業務効率化に成功している教職員から具体的なデジタルツールの活用方法や効果について、学年会やチーム会を通して他の教職員向けにミニ研修を実施する。
2 確かな学力の育成	①【活用・表現力を育成する授業】「活用・表現力を育成する授業」について、児童の学びや学びの場を充実させ、児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行う。	研究発表	「活用・表現力を育成する授業」について、児童の学びや学びの場を充実させ、児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行う。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「活用・表現力を育成する授業」について、児童の学びや学びの場を充実させ、児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行う。		全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	教師側児童側ともに高い割合で「A」に回答し、活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。	
	②【個に応じた学びと協働的な学びの一体的な充実】デジタル学習基盤を効果的に活用し、児童一人ひとりに応じた学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	研究発表	「個に応じた学びと協働的な学びの一体的な充実」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「個に応じた学びと協働的な学びの一体的な充実」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
	③【意図的・計画的な学力向上の取組】学力ロードマップを軸に、6年間を見通した意図的・計画的な学力向上の取組を推進する。	研究発表	「意図的・計画的な学力向上の取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「意図的・計画的な学力向上の取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
3 多様な児童の個性を伸ばすための集団作り	①【生徒指導の4つの視点を生かした教育活動】生徒指導の4つの視点を生かした教育活動に取り組み、児童が安心して学校生活を送れるよう、組織的かつ継続的な指導を行う。	生徒指導	「生徒指導の4つの視点を生かした教育活動」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「生徒指導の4つの視点を生かした教育活動」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。		全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。	
	②【温かい集団づくり】児童が主体的に挨拶・温かい言葉を交わす場面を大切に、相互理解と尊重に基づく温かい集団作りを支援する。	生徒指導	「温かい集団づくり」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「温かい集団づくり」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
	③【知識や技能を身につける取組】自分の生活を豊かに、安全な生活を営むための知識や技能を身につける取組を行う。	保健主事	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
4 体へ健康で自律的な生活習慣の確立	①【知識や技能を身につける取組】自分の生活を豊かに、安全な生活を営むための知識や技能を身につける取組を行う。	保健主事	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。		全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。	
	②【思考力や工夫する力の育成】運動の楽しさや喜びを味わい、思考力や工夫する力を育成する体育科の授業や体育的行事を推進する。	保健主事	「思考力や工夫する力の育成」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 85% B: 75% C: 65% D: 65%未満	「思考力や工夫する力の育成」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	B	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
	③【知識や技能を身につける取組】自分の生活を豊かに、安全な生活を営むための知識や技能を身につける取組を行う。	保健主事	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
5 家庭・地域との連携	①【PTAや学校運営協議会との連携】PTAや学校運営協議会と連携を深め、地域人材や資源を活用した体験活動の充実に努める。	教頭	「PTAや学校運営協議会との連携」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「PTAや学校運営協議会との連携」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。		全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。	
	②【開かれた学校づくり】学校教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信し、信頼される学校づくりを進める。	教頭	「開かれた学校づくり」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 85% B: 75% C: 65% D: 65%未満	「開かれた学校づくり」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	B	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。
	③【知識や技能を身につける取組】自分の生活を豊かに、安全な生活を営むための知識や技能を身につける取組を行う。	教頭	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。	＜実施状況・アンケート＞ A: 80% B: 80% C: 70% D: 70%未満	「知識や技能を身につける取組」に、学年主任・生徒指導主任・管理職等が連携・協働し、定期的に児童アンケート等でその進捗を確認し、必要に応じて改善策を講じた。また、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。			全学年を通して、「A+B」の項目が非常に高く、多くの児童が主体的に学び、活用・表現力を育成する授業を行っていると感じている。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。全学年で3%、中学年で2%の児童が「C」あるいは「D」と回答しており、学びが定着していることがわかる。	A	活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。活用・表現力の育成に効果的であると認識している。